

第5次最上町総合計画策定に向けて

3地区でまちづくり懇談会を開催しました

連載 Energy ナビ！

教えて！エネルギーのこと

シリーズ1 雪より冷たい…？冬の光熱費のおはなし

～雪国だからこそ、賢くあたたかく暮らしたい～

朝、布団から出た瞬間に感じるひんやりとした空気。窓の外には静かに積もった雪が広がり、室内にも冬の気配がじわりと入り込んでいます。思わずストーブに手を伸ばし、温風が出るまでの短い時間さえ冬の始まりを告げているようです。台所では、給湯器が温まるのを待ちながら「今日も寒いなあ」とひと息。そして気になるのは、ポストに届いた光熱費の明細。開封をためらってしまうのも、雪国に暮らす私たちの“あるある”です。

そんな不安が大きくなる季節だからこそ、最上町では冬の暮らしを応援するエネルギー関連補助制度を大幅に拡充しました。



最上町のエネルギー関連補助制度

- 太陽光発電システム導入…最大 93万円
- バイオマスストーブ（薪ストーブ等）…最大 70 万円
- 省エネエアコンなど各種設備にも対応

※詳細は「最上町重点対策加速化事業 太陽光発電設備等導入事業」チラシをご覧ください。

「うちは関係ないかな？」と思った方へ

実は最近、こんなご相談が増えています。

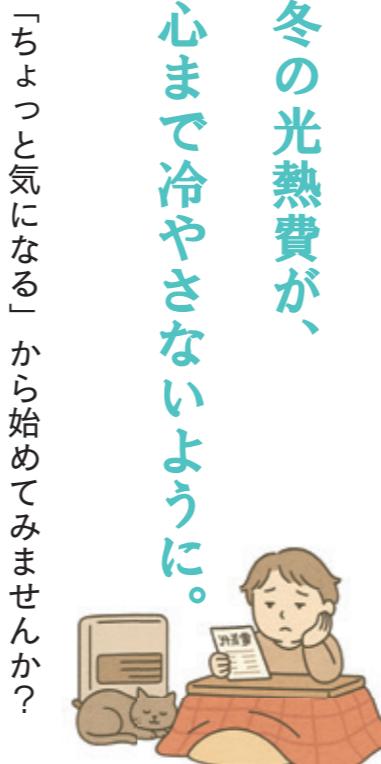
「冬の暖房費が年々きつくて…」

「屋根の雪が多いから太陽光は無理だと思っていた」

「薪ストーブに興味はあるけど大変そうで不安」

どの家庭も、まずは話を聞くだけでも OK。町では全戸アンケートも実施し、皆さんの「暮らしの本音」に合わせたご提案ができる体制を整えています。

○お問い合わせ先 商工観光課エネルギー産業推進室 43-2262



今月号から連載スタート！商工観光課エネルギー産業推進室より町民の皆様へ



今月号より、町内のエネルギーに関する取り組みや、私たちの暮らしに身近なエネルギーの基礎知識を分かりやすく紹介する新シリーズをスタートします。再生可能エネルギーの可能性、全国的に進む省エネの潮流、そして地域としてどのようにエネルギーと向き合っていくか。

エネルギーを取り巻く状況は近年大きく変化しており、町でも持続可能な地域づくりに向けた検討や実践が進められています。しかし、専門的な内容も多く、「結局どう関わればいいの？」「自分たちの暮らしにどんな影響があるの？」と疑問を持つ方も少なくありません。そこで本シリーズでは、町の取組紹介はもちろん、日常生活に役立つポイントも交えながら、全4回にわたりエネルギーを「自分ごと」として理解できる情報をお届けします。暮らしと未来をつくるエネルギーについて、一緒に考えていきましょう。

最上町では、令和8年度からスタートする「第5次最上町総合計画 後期基本計画」の策定に向け、町民の皆さんから率直なご意見をいただくため、11月17日～21日にかけて3地区で「まちづくり懇談会」を開催しました。会場では、前期計画の成果や課題を振り返りつつ、後期計画で重点的に取り組む6つのプロジェクトの方向性を、動画を用いて分かりやすく説明。参加者からは、地域の将来を見据えた多くの意見やアイデアをいただきました。

3地区で計61名が参加

17日の大堀地区（25名）、18日の向町地区（23名）、21日の富沢地区（13名）の3会場で、合計61名の方にご参加いただきました。参加者の皆さんには、最上町が抱える課題と6つの重点プロジェクトを紹介する動画をご覧いただいた後、日頃感じている思いや、これから町づくりに向けた提案を自由に発言していただきました。



11月17日 大堀地区の懇談会

主なご意見・ご提案

- ・女性や若者の声を聞く場を増やしてほしい
- ・出生数を増やす取り組みを強化すべき
- ・JR代行バスを含む公共交通の本数確保、2次交通の充実
- ・地域の歴史や文化を紹介する取り組みが必要
- ・病院改革の必要性
- ・地区公民館の耐震化
- ・小学校の将来についての不安
- ・デジタル化は必要だが高齢者への配慮も
- ・デジタル人材の育成を併せて進めるべき
- ・町や地域全体のビジョンが一目で分かる模型づくりの提案
- ・商店街の活性化
- ・ひきこもり、不登校、障がい、高齢者などの相談窓口の整備
- ・話し合いの場をもっと増やしてほしい
- ・対面・回答型より、円座形式の「協働型」が話しやすい
- ・人口減少下でも、夢や希望を持てる町づくりを ほか多数



11月18日 向町地区の懇談会

若い世代にも届く懇談会へ

今回の懇談会では、多くの建設的なご意見を頂戴した一方で、若年層の参加が少ないという課題も見えました。今後は、若い世代の方にも参加していただけるよう、開催方法や時間帯、広報手段等工夫を検討していきます。

また、寄せられたご意見やご提案は、後期基本計画（案）をブラッシュアップする際の大切な材料として活用し、町民の皆さんとともに、最上町の未来を描く計画づくりを進めてまいります。



11月21日 富沢地区の懇談会